



ネイチャーセンターだより

2020年9月号

新・いきもの図鑑



トウネン (シギ科)

トウネンは、スズメと同じくらいの大きさのシギの仲間です。江戸時代には、「とうねごしぎ」または「当年子（とうねご）」と呼ばれていました。当年子とは、その年生まれの子という意味で、体が小さいことを表しています。

トウネンの繁殖地は、ロシア北部の北極圏、越冬地は、東南アジアやオーストラリアです。渡る距離は、1万キロ以上にもなり、小さな体ですが、その秘められたパワーにとても驚きます。春国岱周辺では、春と秋の渡り途中に立ち寄り旅鳥で、5月と8～9月によく観察されます。干潮時間になると、トウネンは、風蓮湖や根室湾の干潟で採食しており、多いときは、150羽ほどの群が見られます。

【参考文献】

花輪伸一. 1996. 日本動物大百科第3巻鳥Ⅰ. 平凡社. 東京.
菅原浩・柿澤亮三編. 1993. 図説日本鳥名由来辞典. 柏書房. 東京.

しゅんくにたい 春国岱にタカブシギの群が飛来

9月3日に行ったシギ・チドリ類の調査の際、春国岱の中谷地（第一浜堤と第二浜堤の間）にタカブシギ18羽の群がおりているのを観察しました（古南幸弘、稲葉一将）。場所は西側のシカ柵の内陸側で、ヒバリシギ1羽、トウネン2羽といっしょに、浅い水面で採食していました。

タカブシギは干潟よりは淡水の湿地を好む中型のシギです。かつては数の多い旅鳥でしたが、近年数が急激に減ってしまい、環境省のレッドリスト（絶滅のおそれのある生物のリスト）では絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）にあげられています。2000年～2007年に全国で59%も減ったという分析もあります。

根室でも秋に数多く観察されていたのは昔のことで、1999年からレンジャーが行なっている春国岱と風蓮湖のシギ・チドリ類調査で記録された羽数は、2002年～2017年は0～5羽がほとんどでした（2010年の14羽、2014年6羽が例外）。

ところが2018年の調査では最大16羽、2019年には32羽を数えました。春国岱でまとまった群が見られたのも久しぶりのことです。これが、タカブシギ復活の兆しであることを祈りたいと思います。

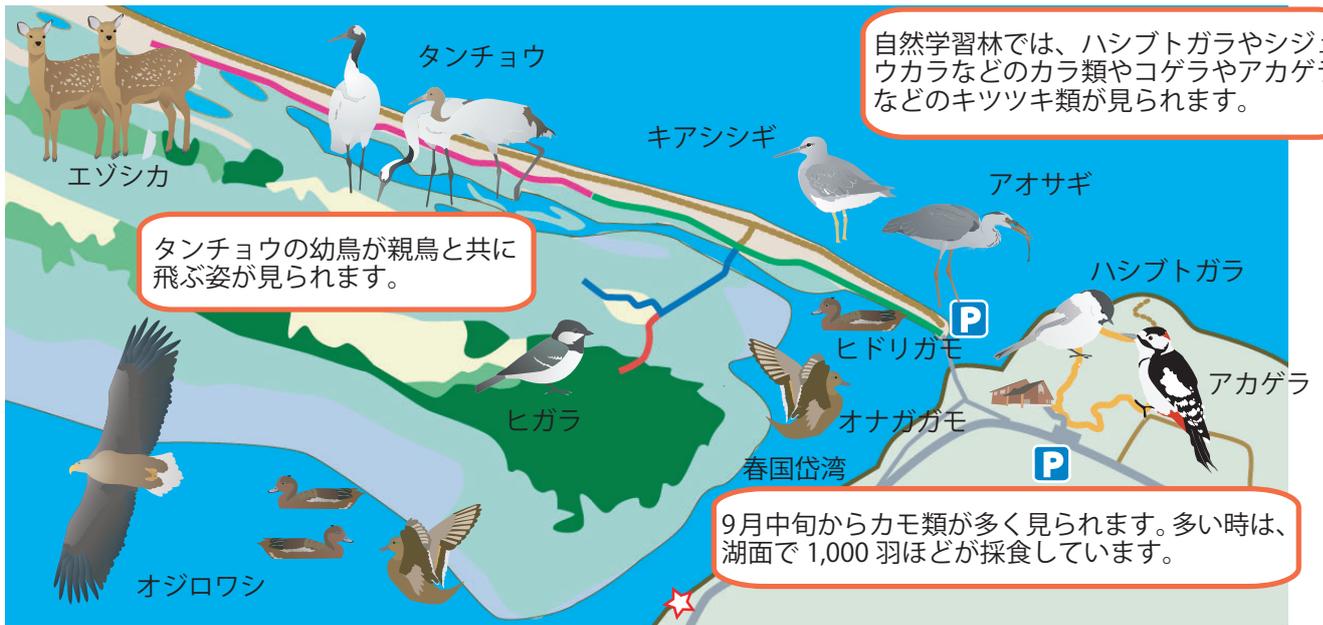


2018年10月20日、春国岱で撮影

【参考文献】 環境省自然環境局生物多様性センター. 2020. 重要生態系監視地域モニタリング推進事業（モニタリングサイト1000）シギ・チドリ類調査2004-2017年度とりまとめ報告書. 高田勝ほか. 1981. 根室地方の野鳥. 根室自然教育研究会.

NEWS

見どころMAP



- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

9月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	立枯木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られる。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることもある。巣立った幼鳥が観察できることもある。
タンチョウ	○	タンチョウは、繁殖の季節。春国岱でもヒナ1羽をつれたつがいが見られる。親鳥は、警戒心の強い時期なので、十分な距離を保って観察してほしい。8月25日に初めて親子で飛ぶ姿が見られた。
シギ・チドリ類	+	シギ・チドリ類は、干潮時に春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採餌する様子が9月下旬頃まで観察できる。過去、9月によく観察されたのは、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネン。
カモ類	○	春国岱周辺では、9月中旬頃からカモ類がよく見られるようになる。ヒドリガモとオナガガモの数が多く、その他にマガモ、ハシビロガモ、コガモなどが見られる。
春国岱の森		アカエゾマツコースでは、ヒガラやハシブトガラなどのカラ類が観察できる。また、運が良いとクマガラに出会うことがある。
自然学習林		ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。※シマエナガは、今年あまり見かけない。
開花		自然学習林: エゾトリカブト・サラシナショウマ・キツリフネ・エゾゴマナ・ハンゴンソウなど 春国岱: (草原)エゾオグルマ・ウンラン・エゾツルキンバイ・ハチジョウナなど (森林)ハンゴンソウ (塩性湿地)ウラギク・アッケシソウ(紅葉)
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようご注意ください。手などが痛んだり腫れたりします。 マダニ・カを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。 自然学習林の周辺は、スズメバチやマルハナバチの仲間が見られます。刺される恐れもあるため、手ではらったり、にぎったりしないようにしてください。

圧巻、オオソリハシシギの55羽の群！

オオソリハシシギは、カラスより少し小さなシギの仲間で、くちばしが名前のおり上に反っているのが特徴です。繁殖地は、ロシアの北極圏で、越冬地は、東南アジアやオーストラリアなどです。日本には、旅鳥として干潟や入り江などに渡来し、風蓮湖では、5月と7～9月にしばしば見られますが、渡来数は減少傾向です。

ネイチャーセンターでは、毎年、7月から9月に4回、風蓮湖内のシギ・チドリ類のカウント調査をしているのですが、今年の8月19日の調査で、オオソリハシシギ55羽の群を風蓮川河口で観察しました。50羽以上の記録は、ここ3年間ありませんでした。過去の記録を遡って、オオソリハシシギの記録を調べてみると、2010年には、214羽を記録したこともありましたが、それ以外は100羽以下です（表1）。

近年、オオソリハシシギは、生息地の開発などによって著しく数が減っています。環境省のレッドリストでは、絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）として掲載されており、これは、タンチョウと同じランクになります。

風蓮湖は、多くの渡り鳥にとって重要な中継地の一つです。これからもオオソリハシシギをはじめとした希少なシギ・チドリ類の保全に役立てられるように動向を探っていきます。

【参考文献】

中村登流. 1996. 日本動物大百科第3巻鳥1. 平凡社. 東京.
根室市教育委員会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書.
高田勝ほか. 1981. 根室地方の野鳥. 根室自然教育研究会.

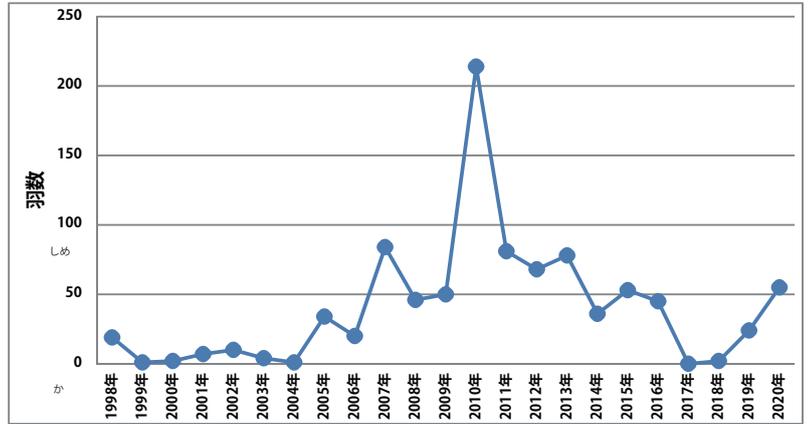


表1 春国岱・風蓮湖で確認されたオオソリハシシギの秋季(7月～9月)の最大記録個体数の推移



2015年6月13日、春国岱で撮影

春国岱クイズ

春国岱のヒバリコースぞいのウラギクの花が見ごろになってきました。ウラギクは野菊の一種で、エゾハコベやアッケシソウ、エゾツルキンバイと同じく、塩分の多い湿地に生えます。あざやかな紫色の花が目を引きませんが、エゾシカに食べられて、背の低いものばかりになってしまったのが残念です。

さて、このウラギクという名まえの意味は、次のうちのどれでしょうか？

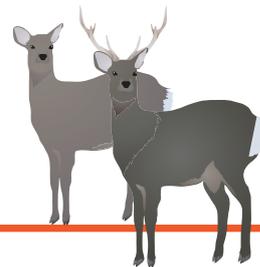
- ① 占菊：うらないにつかうキク
- ② 裏菊：「表菊」という植物と対になっているキク
- ③ 浦菊：浜辺にはえるキク



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

春国岱・秋のハイキング 10 / 4(日) 午前9時30分～12時(雨天等悪天候の場合は10 / 18(日)に順延)
内容:海岸から森まで約3km、アッケシソウの紅葉や湖でさかだちするカモ、エゾシカの群を見ながら歩きます。
服そう:長ぐつ・長そで・長ズボン、歩きやすい服装で。帽子・手袋。マスクをして来てください。
持ち物:水筒、筆記用具、ひとくちおやつ。お持ちの方は双眼鏡
対象:小学生以上(17歳以下の方は大人の方と一緒に) 定員:20人(先着順)
集合・解散:春国岱駐車場
申込方法:電話、メールまたはネイチャーセンターにご来館の時に。
参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。
☎: 0153-25-3047 ☒: nemu_nc@marimo.or.jp



行事にご参加の方には、受付後、次のことをご確認いただけます。どうぞご了解ください。

- 体調の不良(平熱を超える発熱、咳・のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすいなどの症状)がないこと。
- 行事の日の14日前以降に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がないこと。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいないこと。
- 行事の日の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。
- 行事保険では新型コロナウイルス感染症等特定感染症を対象としていないこと。

★風蓮湖みずとり観察会 11月1日 10:00～12:00 詳しくは次号でお知らせします。

募集中!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象:18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む):1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ③ 浦は「海岸。湖岸。浜辺」という意味です。別名の「ハマシオン」と同じく、海のそばにのみ生える特性を言い表しています。なお「表菊」「裏菊」というのは、実際の植物ではなく、菊をかたどった家紋の図案の種類です。

出典 松村明編. 2006. 大辞林第三版. 三省堂. 東京.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日:(開館時間9:00-17:00 10月～3月は9:00～16:30)

9月2・9・16・23・24・25・30日 10月7・14・21・28日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録